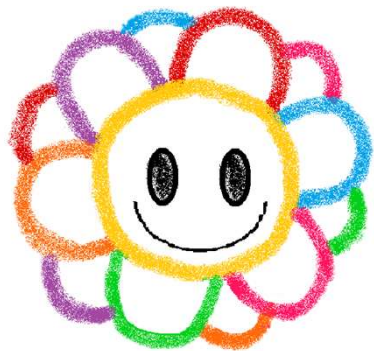


アセスメントとサポートブック ～こどもを知る～

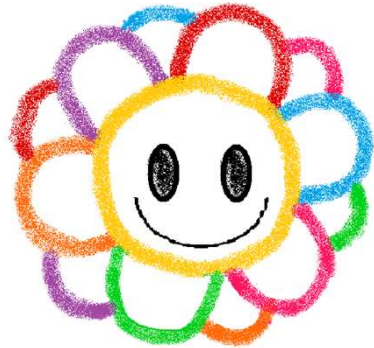


こども発達支援センターmum
保護者向け勉強会



本日の予定

1. アセスメントについて
2. 『はーと♡』について



得意なことを活かして、苦手なことを補うために

1. アセスメントから支援へ

アセスメントの種類

- フォーマルな評価

新版K式発達検査、WISC-IV、PEP-3などの標準化された検査から能力や状態を把握



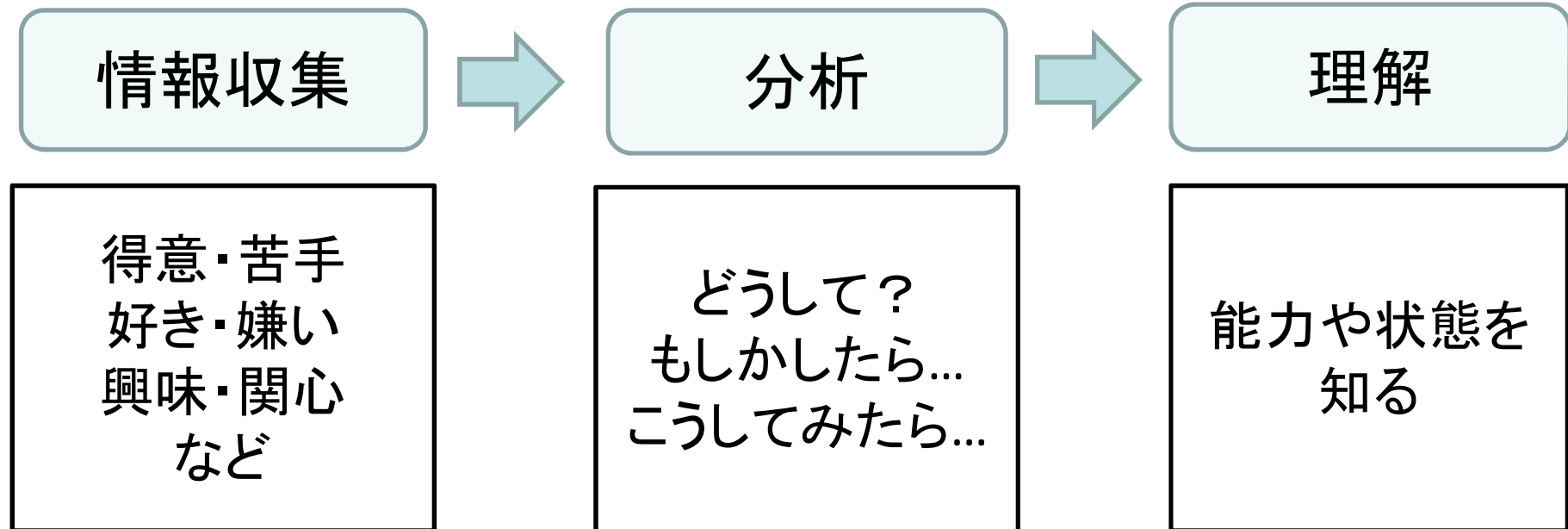
- インフォーマルな評価

暮らしの中で活動の様子や行動を観察し、能力や状態を把握



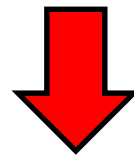
アセスメント(評価)とは

- 本人のことを理解すること



アセスメントの目的

- 持っている能力や可能性を明らかにする
- 周囲の人との共通理解



本人に合った関わりへと導く

アセスメントから支援を考える

- ・できること、できそうなことから取り組む
- ・得意なことを活かし、苦手なことを補う
- ・理解のレベルに合わせて「分かる」ようにする

例) 嫌なことや分からないときの「表現」を教える

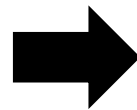
見通しを持てるようにする

アセスメントと支援の関係

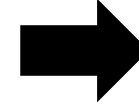
- 目の前の状況と持っている情報を紐づけ



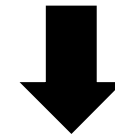
①状況
(着替えを嫌がる)



②情報
(したいことがある/感覚過敏/
嫌なことがある/自分でしたい
/見通しがほしい等)



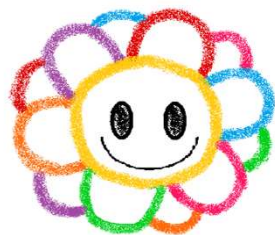
③ <<①②>>から
分析



④支援

根拠をもって

日常生活の例を参考に
アセスメントをしてみましょ



一緒に考えてみましょう

切り替え



ごはんだから
片付けてね！

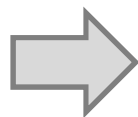


なかなか遊びを終えられない



どこに直したらいいか分からない？
どうなれば、終りなのか分かりにくい？
次、いつ遊べるかの見通しが立たない？

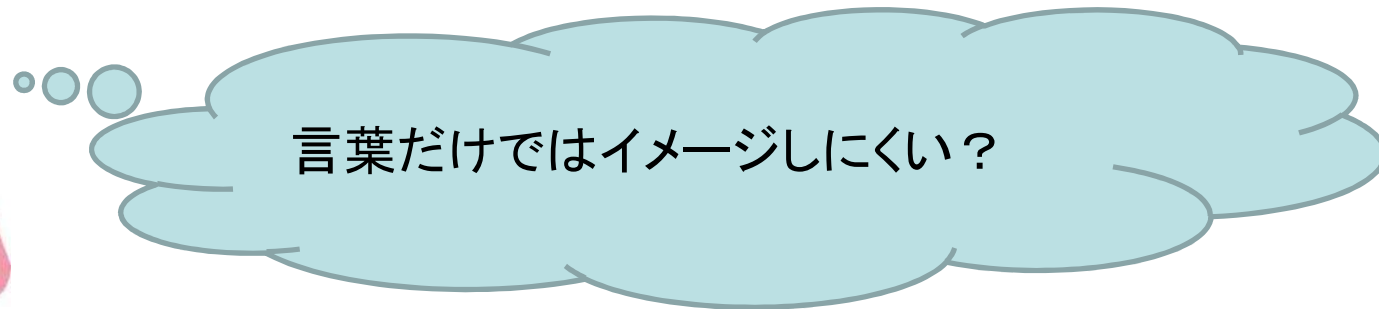
遊びが
終われない



片付ける場所・
終わりを明確にする・
見通しを持つ



理解



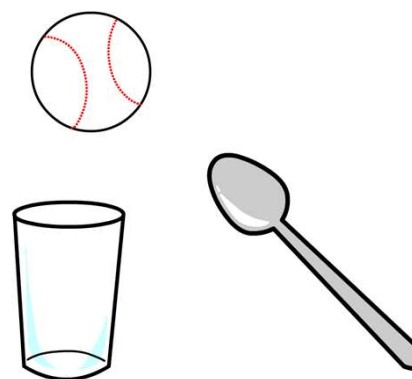
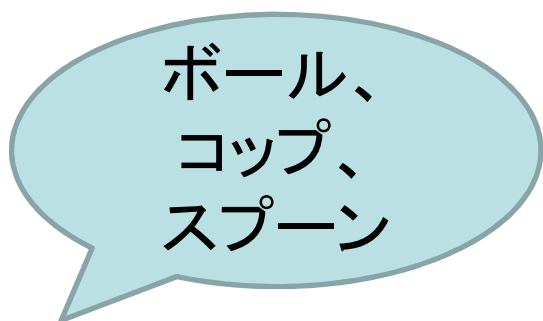
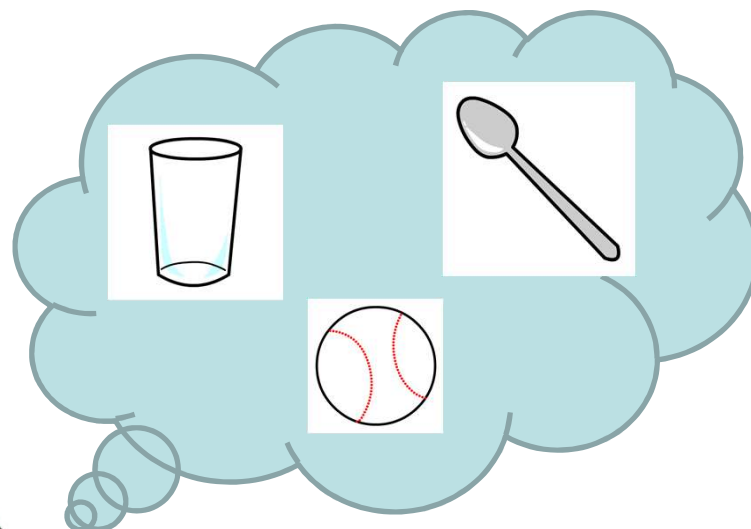
どうしたらよいか
分からない



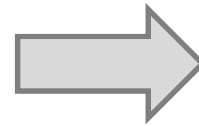
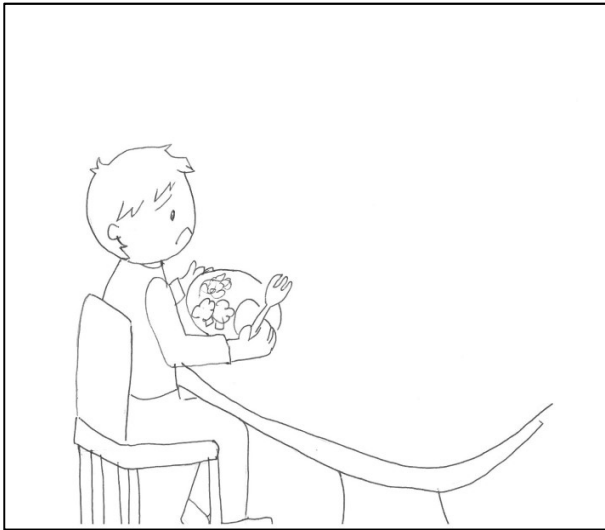
実物を見せて伝える
行先写真を見せる



- 具体物で分かる
- 写真でわかる
- 絵で分かる
- ことばで分かる



表現



投げることで拒否を伝えている？
何て伝えたらよいか分からない？

投げる



何と言ったらいいか
どうしたらよいかを伝える



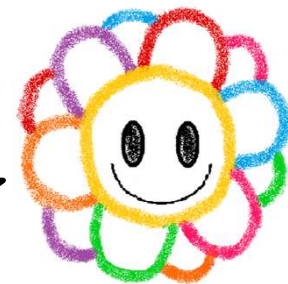
コミュニケーションのアセスメントのポイント

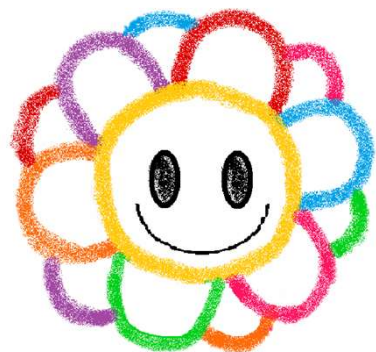
- 何のために、どんな意図で表現しているのか
（要求、注意喚起、拒否等）
- どんな場面で、きっかけ
（暇な時間、初めての場所等）
- 誰に対して
（大人、子ども、男性、女性等）
- どんな方法が分かりやすいか
（言葉、文字、身振り、絵等）

アセスメントのポイント

- 情報を集める
※行動や様子を観察することも大切
- 子どもの立場に立って考える
- 客観的な視点で考える
- 具体的な状況を確認し、多面的に分析

アセスメントは支援のスタート
お子さん一人ひとりに合った方法を、
考えていきましょう！





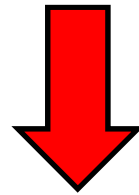
2. サポートブック『はーと♡』 について

サポートブックとは？

- ① つづる こどもの様子や支援を受けた内容などをつづります
- ② 伝える 関係機関に見せることで、子どもの情報を整理してわかりやすく伝えることができる
- ③ つなぐ 乳幼児期から成人期までのライフステージで途切れることなく一貫した支援を受けられるように活用することができる

『はーと♡』とは？

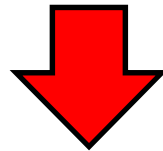
- 細やかな配慮を必要とする子どもの
成長の様子、思い出、関わり方などを
ご家族・支援者・先生などが記入して記録。



子どものための
オリジナルの記録ファイル!!!

『はーと♡』とは？

- 子どものことを理解してもらうために活用。
- 家族、本人、支援者、関係機関を繋ぐためのツールとして活用。



連続性のある一貫したサポートを
受けることに繋がる。

『はーと♡』とは？

- 市のHPからもダウンロード可能

<http://www.city.kawachinagano.lg.jp/>

ダウンロードができるページのいきかた

- ① 『河内長野市ホームページ』検索
- ② **各課の情報** クリック
- ③ 保健福祉部 の **障がい福祉課** クリック
- ④ 手続き案内 の **サポートブック「はーと」** クリック

『はーと♡』の使い方

- 新たに、関係機関との関わりが始まる時
- 成長の記録や支援内容などを詳しく伝えることが必要になったとき

例えば・・・

- 入学、入園、進級
- 一時保育の利用、福祉サービスの利用 など

サポートブックを使うのはどんなとき？

生まれたときからの記録は、入園・入学後の先生たちの理解につながる

場面に応じて必要なページを取り外して伝えることも可能

☆ 支援者や先生に渡す

☆ は一との本体は、返却してもらい、保護者が保管する

小学校へ入学

地域の小学校



支援学校

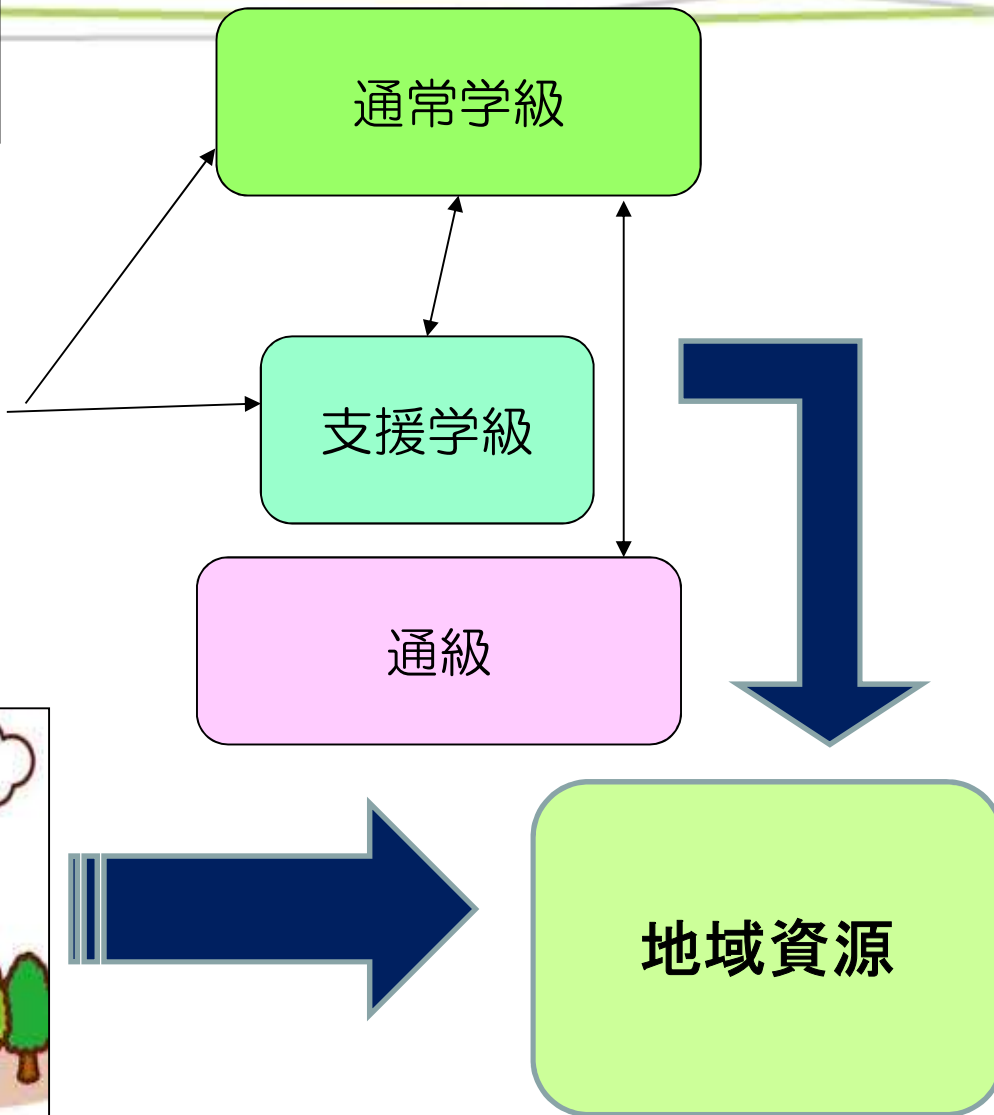


通常学級

支援学級

通級

地域資源



『はーと♡』を使うメリット

利用することで
どんなメリットがあるの？



『はーと♡』を使うメリット①

去年の先生にも
同じことを話したな。
学年が変わるたびに、
また1から同じ話を
するのはちょっと…



去年の支援内容は
次の学年の先生に
引き継いでもらえる？



学校や関係機関が変わるたびに、
同じことを繰り返し伝える負担が少なくな
ります



『はーと♡』を使うメリット②

担任の先生に何を、
どう伝えたらいいの？

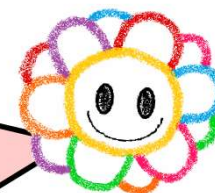


他のきょうだいのこと
もあって…
いつのことだったか
忘れちゃった



これまでの育ちの様子や支援内容などを整理して分かりやすく伝えることができます

(必要なシートをコピーして支援者に渡すのもOK！)



『はーと♡』を使うメリット③

毎日一緒に過ごしていると
成長が見えにくいな



前に受診したのは
いつだったかな？
どんなアドバイスを
もらったっけ？



子どもの育ちの様子や、これまでの出来事を振り返ることができるオリジナルの記録ファイルになります



『はーと♡』を使うメリット④

こんなときどうしてるの
かな？

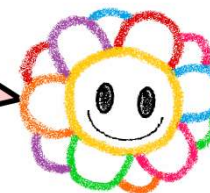


この方法だと自分
でできる

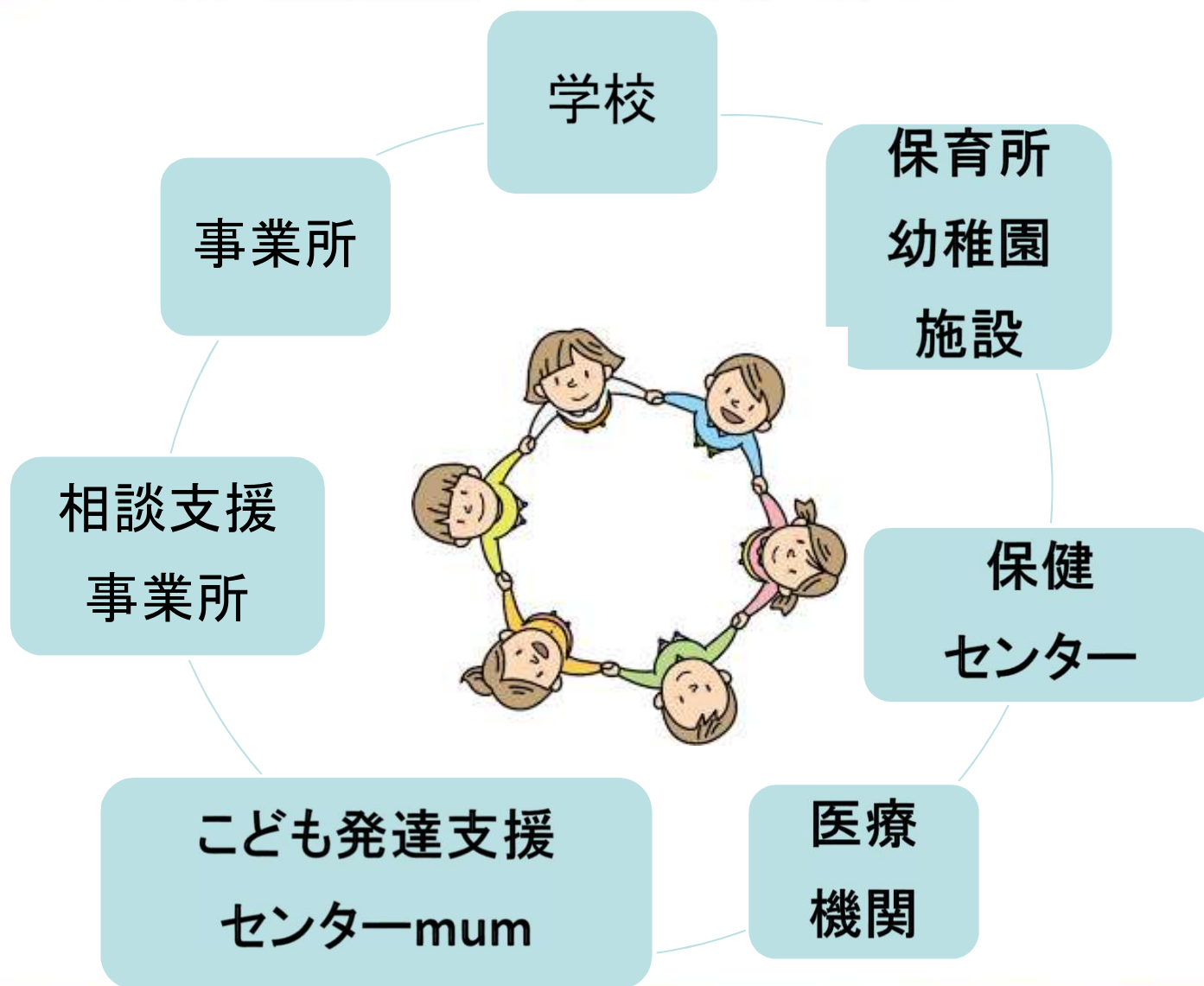


- こどもの情報を正確に、短時間で知ることができる
- 複数の人が同じ情報を共有できるので、一貫した支援ができる

安心・安定



『はーと♡』の役割



『はーと♡』の 中身を紹介！

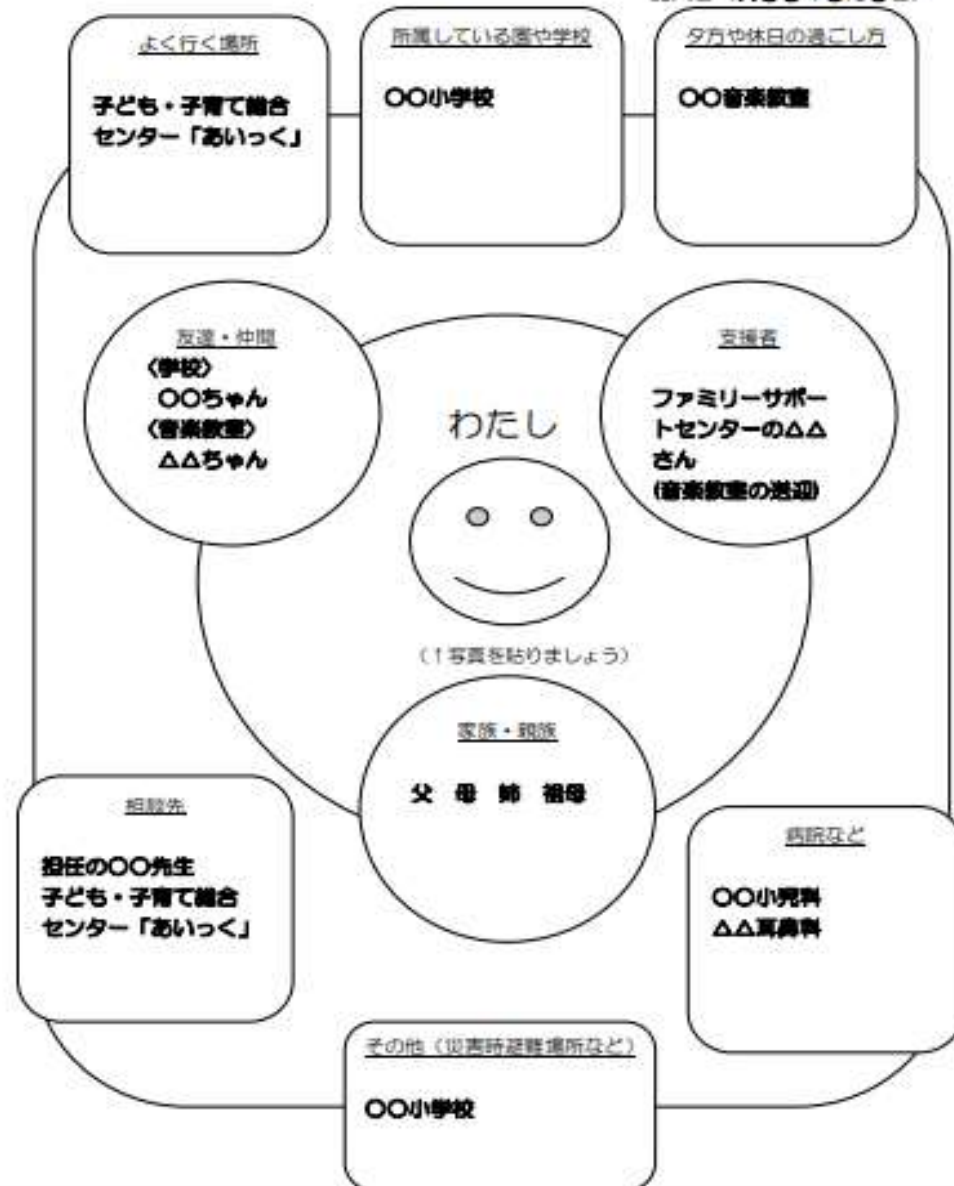


基本セット

- 本人の紹介
- 名前の由来
- 家族構成
- 生い立ち(母子手帳などを参考に)
- 年表(通っていた場所、エピソードなど)
- 私を中心とした生活マップ
- 生活の記録
- 相談、受診、検査などの記録

私を中心とした生活マップ（ 9 歳）

記入日（H00年0月0日）



《記入の時期》

- 生活状況が変化
例：新たな支援が始まる時
引っ越しをした時
- 年に1回、月を決めて
例：学年が変わる時
誕生日

生活の記録 (9 歳)

生活の記録



記入日 (HOO年O月O日)

●平日の過ごしかた

0	
1	
2	
3	
4	
5	
6	起床
7	朝食
8	
9	
10	
11	小学校
12	
1	
2	
3	
4	放課後児童会
5	
6	
7	夕食
8	入浴
9	就寝
10	
11	

●休日の過ごしかた

0	
1	
2	
3	
4	
5	
6	起床
7	朝食
8	
9	
10	
11	
12	朝食
1	
2	図書館・公園など
3	
4	
5	ゲームの時間
6	
7	夕食
8	入浴
9	就寝
10	
11	

●1週間の過ごしかた

◆余暇活動や通っている場所などを記入しましょう。

放課後児童会・習い事・クラブ・病院・訓練・ジ
ャンプ教室・保育所や幼稚園の地域向け事業など

	月	火	水	木	金	土	日
午前			小学校			自宅 (母:休み)	自宅 (父:休み)
午後	放課後 児童会	放課後 児童会	小学校 音楽教室	放課後 児童会	放課後 児童会	自宅 (母:休み)	自宅 (父:休み)

《分かること》

- 生活のパターン
睡眠リズム、
食事の間隔
医療的なケアの
頻度など
- 通っている場所
放課後等デイ、
習い事、病院、
訓練、保育所、
幼稚園 など

相談・受診・検査などの記録

基本 相談等の記録

◆相談したことや、アドバイスを受けたこと
受けた検査名とその結果、診断名、病名などを記入しましょう。

病院での検査結果

年月日	機関名*	内容・結果など
H00年 0月 0日 (歳 5ヶ月)	保健センター 約束クリニック (担当者:00ドクター)	首の座りが遅いが、寝返りもしかけており心配ないと言われた。
(3歳 6ヶ月)	3歳6か月児健診	落ち着きがなく、パニックになることを相談した。耳から聞いたことの理解が苦手なので、実物を見せて説明するなどのアドバイスももらった。継続して、定期的に発達相談を受けることにした。

mumでの相談

保健センターでの相談

☆その都度、少しだけ話したことでも書こう！

☆書面で貰った場合は一緒に綴じましょう！

この頃の本人の様子(歳)



好きなこと・得意なこと(物・遊び・過ごしかたなど)

- あやしたら笑ってくれる。何よりも抱っこが好き。
- 昼間はお姉ちゃんが幼稚園に行って家にいないので、ママとふたりでのんびりと過ごしています。
- お姉ちゃんの声にはしっかりと反応してくれるように。あいちゃんも、お姉ちゃん大好き。お姉ちゃんも、あいちゃんが可愛くて仕方ないみたいです。

こんなことが好き⇒例: キャラクター、食べ物、感触、音楽、場所...

☆好きなこと・得意なことを知ってもらえると...

支援者や先生が、子どもと関わるときに
きっかけを作りやすい!!

この頃の本人の様子（ 歳）



嫌いなこと・苦手なこと（音・物・場所・感触など）

なぜか、お風呂が嫌いみたいで、毎日大泣きされます。
気持ちいいのになあ、どうしてかな。

こんなことは嫌い⇒水、砂、初めての場所、初体験のこと

☆嫌いなこと・苦手なことを知ってもらえると・・・

事前に配慮しやすくなります！！
子どもが自分で伝えられないことを
保護者の方が**代弁する**ページです

家族の思い(歳)



- 思い出のできごと
行事、初めての出来事、入院等
- 成長したこと
オムツがとれた、自転車に乗れた等
- 子どもへの願い
こんなことができるといいな
こんな子に育ててほしいな等





支援のヒント集

記入者	花野内 みどり	記入日	H00年 0月 0日 (0歳)
-----	---------	-----	------------------

- ◆「こんな時には、こんな支援が助かります」という支援の方法を記入します。
- ◆保護者だから知っているコツ、支援者だから知っているコツを共有しましょう。

<p>こんな場面では…</p> <p>自分の思い通りにならないことがあると大泣きして、パニックになってしまう時</p>	→	<p>こんな支援が助かります</p> <p>その場所を離れることで、気分が変わり泣き止むことが多いです。 少し落ち着いた後のほうが、話を聞いてくれます。</p>
<p>こんな場面では…</p> <p>初めての場所に行く時</p>	→	<p>こんな支援が助かります</p> <p>事前に、その場所の写真やパンフレットを見せて予告しておくことで、不安が軽減します。</p>
<p>こんな場面では…</p> <p>伝えたいことが複数ある時</p>	→	<p>こんな支援が助かります</p> <p>紙やホワイトボードに、優先順位がわかるように1番から順に書くことで、スムーズに伝わる人が多いです。</p>

- 保護者が知っている関わり方のコツを支援者に伝える
- 子どもは日々成長しているので更新が必要

保護者から□□へ伝えたいこと

コミュニケーション	ことばの理解 (聞いて理解する力 見て理解する力)	生活の中でよく使う言葉は、だいたい理解していると思います。簡単なお手伝いもできます。「〇〇してから、△△するよ」など、ちょっとした約束ごともしっかり分かるようになってきました。
	伝える方法 (態度や視線 指さし・言葉など)	欲しいものや、して欲しいことがある時は、言葉で訴えたり、仕草で要求するのでだいたいはわかります。ただ、言葉数は少なく、慣れるまでに時間がかかる子ということもあり、困ったことがあっても、はじめは自分から訴えていくことができないと思いますので、配慮していただきたいです。
人との関係	おとな	大人に関わってもらうことは好きです。慣れてきたら、自分を少しずつ表現できると思います。ただ、母親がいるとなかなか離れずにくっついてしまいその場に馴染んでいくのが難しいです。
	こども	何となく、そばで一緒に遊んでいますが、友達との関わりはあまりないようです。特に人数が多いと、その場に馴染むのに時間がかかります。
好き・得意	物・遊び・ 過ごし方など	テレビキャラクターの〇〇が好きです。苦手な食べ物も、キャラクターの絵が描いてあるスプーンでなら食べることもあります。寝る時のタオルは必需品です。以前はタオルの角をチューチュー吸っ

いちまいシート

好きなこと・好きなもの

スマホゲーム
虫取り
チョコレート

苦手なこと・苦手なもの

集団で遊ぶこと
周りの雰囲気をつかむこと
耳そうじ

名前 花月内 愛南 (6歳)



(写真を貼りましょう)

性格・良い所

笑顔で明るい
健康で元気
超マイペース
嘘がつけない正義者

緊急連絡先、生育歴、診断名や特性、本人の希望、保護者の希望、配慮をお願いしたいこと、先生からのメッセージ等

- 項目を自由に変えて、伝えたいことを1枚に。

医療編

- アレルギーの記録
- 定期的に受けている医療や処置
- 診断、大きな病気、ケガなど
- 特に気を付けてもらいたい症状
- 服薬の記録

福祉支援の記録

- 身体障がい者手帳
- 療育手帳
- 精神障がい者保健福祉手帳
- 医療助成
- 手当、障がい年金

サービス利用の記録

- 障がい児通所、入所支援
- 障がい福祉サービスなど

☆利用している支援の内容が分かるので
決定通知書も一緒に綴っておきましょう。

将来の暮らしプラン

- 学校卒業時などに、将来のプランについて記入
- 福祉サービスなどの支援計画も一緒に綴じる

園・学校の先生が
助かるシート





- 私を中心とした生活マップ

➡ どんな機関を利用しているかなどが分かるため

- 支援のヒント集

➡ その場での対応方法が分かるため

- 医学的な情報

➡ 事前に対応方法などが分かるため

作成するポイント



書き方のポイント①



- 読む人の立場になって作成する
- 書きやすい項目、相手に伝えたい項目から記入する
- 成長に合わせて書き換えたり、書き足す
- 診断書や検査結果、個別支援計画書など、支援内容がわかるものもとじる
- 園や小学校での様子など、わからない内容は先生や支援者に相談する

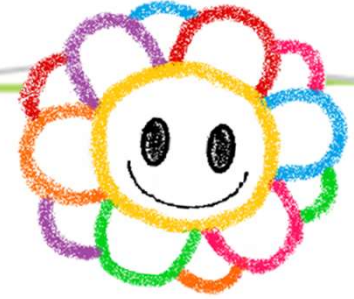
書き方のポイント②

- 全てのページを記入しなくてもよい
- 今、必要ないと感じるページは外してもよい
- どうサポートして欲しいか伝える
- 子どもにあった支援やかかわり方を記入する
- 支援者や先生の思いも書いてもらおうとよい
- 保護者同士で話しながら記入してもよい
- mumのスタッフにも質問してくださいね☆

『はーと♡』は、あくまでも基本形。
子どもに合わせて**カスタマイズ**してOK！



お疲れ様でした



ありがとう
ございました

